

目次

大阪における人権文化の構築をめざす人権教育の実践 —個人、地域、社会の関係性の視点からの一考察	石川結加(1)
自然素材とエコロジカル教材の活用 —工芸科教育の教材について	石津勝(13)
ホスピタルアート、その成果報告	車谷哲明(21) 金田恵美子
カリキュラム・マネジメントによる教科等を越えた 道徳教育(道徳科)の展開についての一考察	小山久子(31)
金属のちいさな作品を通じて	杉井啓三(45)
教職認定試験(ピアノ)の導入と実践 —ピアノ教育の目指すところ	高久理恵(49) 仲道祐子 今川裕代 志賀真知子
織物実習プログラムの開発 —その実践報告と考察	高橋亜希(59)
「国語表現」におけるビブリオバトル導入の効果について	龍本那津子(71)
小学校での外国語活動とALTの活用について	東田彰子(85)
小学校での外国語活動と中学校英語の連携を目指して	東田彰子(95)
「来れる」「見れる」という可能表現	古江尚美(111)
ジャンルを越えて—工芸から美術表現へ	三木陽子(121)
生型によるアルミニウム鋳造	水野年彦(129)
投稿規程	(138)
知識と感情を結ぶものとしての芸術教育	前川陽郁(1)

編集後記

大阪芸術大学教員養成研究論集「芸術と教育」が刊行されるはこびとなりました。大学の教員には研究業績が求められ、本学にはすでに大阪芸術大学紀要「芸術」、大阪芸術大学大学院芸術文化研究科の論集である「芸術文化研究」が刊行されています。教職課程の教育を担う教員においては、研究業績とともに担当する講義科目の講義内容を裏づける活字となった教育研究業績が求められます。本論集は、教職課程の教育を担う教員の教育研究業績の発表の場としての役割を担うこととなりますので、本研究論集をその業績発表の場として活用していただければ幸いです。

本研究論集は論集の質的な向上を図るため、査読制度を取り入れています。短期間の募集にもかかわらず、1編の論文と4編の研究報告、9編の実践報告を掲載することができました。研究論文、研究報告とともに掲載されている、実践報告は、教育現場を知る機会としても役立てられることと思います。ご投稿いただいた先生方、ならびにご多忙の中、査読をお引き受けいただいた先生方にお礼申し上げます。

本学の教職課程は芸術教育の領域において40年の歴史を有し、芸術教育に携わる多くの学校教員を輩出しております。今後も本学の教職課程に携わる教員の質的向上に資するものとして、本研究論集が役だてられることを期待いたします。

(教養課程主任教授 若生謙二)

大阪芸術大学教員養成研究論集 芸術と教育 第1号(2017.12)

印刷 2017年12月25日
発行 2017年12月25日

編 集 『芸術と教育』編集委員会

大阪府南河内郡河南町東1-469(〒585-8555)
電話 0721(93)7907
FAX 0721(93)5542

発 行 大阪芸術大学 教務部教職相談室

印 刷 株式会社田辺プリント社